

「決算報告 農業ビジネスに本格的に取り組み開始 - コメリ - 」月刊需要創造、
月刊ホームセンター 2009年6月号、日本ホームセンター研究所 2009年6月10日刊を読む

既存店180店を改装する

2010年3月期についても、経営を取り巻く環境は引き続き厳しいと見ている。消費マインドは停滞しているし、消費者の低価格指向も続いていくものと思われる。

そのような状況の中で私どもの今期の課題は、大きく上げて次の3つになる。

(1) 既存店の活性化

客層を広く捉えることを目的として、既存店 180 店舗の全面改装を計画している。この改装によって既存店の活性化を図っていきたい。

(2) 農業ビジネスへの取り組み

農業への取り組みを本格的に実施していく。国のさまざまな政策もあるが、農業分野の生産性向上の一翼を担っていきたいと考えている。私どもの店舗の状況を考えても、それができる可能性がいちばんある企業は私どもだと考えている。

(3) 荒利益の改善

仕入政策の見直しによる値入率の改善と、PB商品の販売拡大がポイントになる。

P.21 ~ 23

[コメント]

日本の農村地区に 1000 店以上の店舗展開をする「コメリ」は、JA(農協)を補い、日本農業のビジネス化支援を本格的にスタート。日本経済を復活させるのはコメリのような取り組みと考える。

- 2009年6月5日林明夫記 -